

1 3けたや4けたのたし算とひき算 (指導時期 4月・8時間)

単元の目標

3位数や4位数の加法、減法を、既習である2位数などの計算方法をもとに考え、筆算で計算することができる。また、加法及び減法に関して成り立つ性質を計算に生かすことができる。

関

4位数までの加法や減法の計算のしかたの理解に意欲をもって取り組む。

考

- ・2位数などの計算をもとに、4位数までの加法、減法の計算方法を考えることができる。
- ・4位数までの加法及び減法の筆算方法を、具体物を用いたり、図や言葉などを用いて、その計算の意味と結びつけながら説明することができる。

技

4位数までの加法及び減法の計算方法や意味を理解し、筆算で計算できる。

知

4位数までの加法及び減法の計算方法がわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|-------------------------|---|---|---|
| 1 たし算の筆算 (教p. 6~11) | 1 | [アプローチ] p. 6の場面をもとに、既習の計算をふりかえり、数が大きくなったときの計算に対する見通しをもつ。 | 関 3位数の加法の計算方法を考えるために、既習の計算を生かそうとしている。 考 2位数までの加法の計算原理と筆算の方法や手順をもとに、3位数までの加法の筆算のしかたを説明している。 |
| | | ・くり上がりが1回の3位数までの加法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 技 くり上がりが1回の3位数までの加法の計算を筆算でできる。 |
| | 2 | ・一の位と十の位がくり上がる3位数までの加法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 技 一の位と十の位がくり上がる3位数までの加法の計算を筆算でできる。 知 一の位と十の位がくり上がる3位数までの加法の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| 2 ひき算の筆算 (教p. 12~16) | 3 | ・4位数までの加法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 技 4位数までの加法の計算を筆算でできる。 知 4位数までの加法の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| | 4 | ・くり下がりが1回の3位数までの減法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 考 既習の減法の計算原理と筆算の方法や手順をもとに、3位数までの減法の筆算のしかたを説明している。 技 くり下がりが1回の3位数までの減法の計算を筆算でできる。 |

| | | | |
|--------------------|---|---|--|
| | 5 | ・ 十の位と百の位がくり下がる3位数までの減法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 技 十の位と百の位がくり下がる3位数までの減法の計算を筆算でできる。 知 十の位と百の位がくり下がる3位数までの減法の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| | 6 | ・ 被減数に空位があり、十の位と百の位がくり下がる3位数までの減法の計算方法を理解し、筆算で計算する。 | 技 被減数に空位があり、十の位と百の位がくり下がる3位数までの減法の計算を筆算でできる。 知 被減数に空位があり、十の位と百の位がくり下がる3位数までの減法の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| | 7 | ・ 4位数までの減法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 技 4位数までの減法の計算を筆算でできる。 知 4位数までの減法の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| まとめの練習 (●p. 17) | 8 | ・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | 技 4位数までの加法及び減法の計算を筆算できる。 |
| ふくしゅう1 (●p. 18) | 1 | ・ 復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。 | |

■ 2 かけ算 (指導時期 4月～5月・5時間)

単元の目標

乗数または被乗数が0や10の場合の乗法の意味と、その積について理解する。また、乗法に関して成り立つ性質を理解し、計算に生かすことができる。

- 関考** 乗法に関して成り立つ性質を進んで計算に生かそうとし、そのよさに気づく。
- ・ 既習事項や乗法の意味から乗法に関して成り立つ性質を見いだす。
 - ・ 乗数の増減と積の増減の関係や乗法の交換法則などをもとに、乗数や被乗数が10の乗法の積の求め方を見いだす。
- 技知** 乗数や被乗数が10の乗法の計算ができる。
- ・ 乗数や被乗数が0の乗法の式の意味と、その積がわかる。
 - ・ 乗法に関して成り立つ性質がわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|--------------------------|---|---|---|
| 1 0のかけ算 (教p. 19～20) | 1 | ・おはじき入れのゲームを通して、乗数や被乗数が0の場合の乗法の意味と、その積について理解する。 | 技 乗数や被乗数が0の乗法の式表示ができる。 知 乗数や被乗数が0の乗法の式表示と、その意味や積について理解している。 |
| 2 かけ算のきまり (教p. 21～26) | 2 | ・既習の乗法に関して成り立つ性質をもとに、 7×6 の答えの求め方を考え、説明するとともに、乗数が1増減すると積は被乗数分だけ増減することや乗法の交換法則について理解する。 | 関 乗法に関して成り立つ性質を 7×6 の答えの求め方に生かそうとしている。 考 乗法に関して成り立つ性質を用いて、 7×6 の求め方を考え、説明している。 |
| | 3 | ・被乗数や乗数を分けて計算する見方で 7×6 の答えの求め方を考え、説明するとともに、分配法則について理解する。 | 考 7×6 の答えの求め方を、分配法則の考え方をもとにして考え、説明している。 知 被乗数や乗数を分けて計算しても積は同じになる乗法の性質(分配法則)を理解している。 |
| | 4 | ・乗数や被乗数が10の乗法を、乗法の意味や性質に基づいて理解し、計算できる。 | 考 乗法に関して成り立つ性質をもとに、乗数や被乗数が10の乗法の計算のしかたを見いだしている。 技 乗数や被乗数が10の乗法の計算ができる。 |
| まとめの練習 (教p. 27) | 5 | ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | 技 乗数または被乗数が0や10の乗法の積を求めることができる。 知 乗法に関して成り立つ性質を理解している。 |
| 暗算 (教p. 28) | 1 | ・2位数どうし程度の加法と減法を暗算で計算する。 | 考 数構成に着目して、2位数どうし程度の加法や減法の暗算のしかたをいろいろ考えている。 技 2位数どうし程度の加法や減法の計算を暗算でできる。 |

3 時こくと時間 (指導時期 5月・7時間)

単元の目標

時刻や時間に関心を持ち、時刻や時間の求め方を理解し、それを日常生活に生かそうとする。また、短い時間の単位「秒」や、1分=60秒の関係について理解し、秒を用いて時間を表すことができる。

関 時刻や時間を求めることに関心を持ち、日常生活のなかで進んで時刻や時間を求め、活用しようとする。

考 時刻や時間を求めるときも、同じ単位どうしを計算すればよいことを考えることができる。

技 ・日常生活で必要な時刻や時間を求めることができる。
・秒を使って時間を表すことができる。

知 ・時刻や時間の求め方がわかる。
・短い時間の単位「秒」を知り、「分」との関係がわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|---|---|--|---|
| 1 時こくや時間 のもとめ方 (教p. 29~33) ◇時こくのもとめ方 (教p. 31) | 1 | [アプローチ] ●教 p. 29 の絵をもとに、時刻や時間の既習事項をふりかえり、本単元の学習の見通しをもつ。 | 関 2学年の時刻と時間の学習をふりかえるなかで、さらに時刻や時間について考えていこうとする意欲をもっている。 |
| | | ・ある時刻から一定時間前後の時刻を求める。 | 考 時計の文字盤をもとに、ある時刻から一定時間前後の時刻の求め方を考えている。 |
| | 2 | ◇筆算形式での時間の計算のしかたを知る。 | 技 ある時刻から一定時間前後の時刻を求めることができる。 |
| | 3 | ・ある時刻からある時刻までの時間を求める。 | 技 ある時刻からある時刻までの時間を求めることができる。 知 ある時刻からある時刻までの時間の求め方を理解している。 |
| | 4 | ・ある時間とある時間をたした時間を求める。また、ある時間からある時間をひいた時間を求める。 | 技 2つの時間をたした時間やひいた時間を求めることができる。 知 2つの時間をたした時間やひいた時間の求め方を理解している。 |
| 2 短い時間 (教p. 34) | 5 | ・短い時間の単位「秒」や、1分=60秒の関係について理解し、分と秒を用いて時間を表す。 | 技 ストップウォッチを用いて、短い時間を分や秒で測定することができる。 知 1分=60秒の関係を理解している。 |

| | | | |
|---|---|--|--|
| まとめの練習 (●p. 35) ◇ 時こくや時間 を調べよう (●p. 35) | 6 | ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 ◇学習した時刻や時間について、自分の生活をふりかえる。 | 技 時刻や時間を求めることができる。 知 1分=60秒の関係を理解している。 |
| ◇ (生活のなかの算数) 時こく表を使って考えよう (●p. 36) | 7 | ◇日常生活の場面で使われる時刻表の読み方を理解し、時間を求めたり、運行のようすを読み取ったりする。 | 関 日常生活のなかで、時刻表が使われていることを知り、その読み方を進んで調べようとしている。 技 時刻表の読み方を理解し、必要な時間を求めることができる。 |

■ 4 かけ算の筆算 (指導時期 5月～6月・12時間)

単元の目標

2, 3位数×1位数の計算原理や方法, 筆算のしかたを理解し, その計算が確実にできる。また, ことばの式やテープと数直線の図の表し方を理解し, 問題を解くことができる。

- 関** 2, 3位数×1位数の計算のしかたを進んで考えようとする。
- 考** 2, 3位数×1位数の計算のしかたを, 数の構成や十進位取り記数法をもとに, 既習の乗法を用いて考え, 説明することができる。
- 技**
 - ・2, 3位数×1位数の計算を筆算で確実にできる。
 - ・乗法の場面で, ことばの式やテープと数直線の図を用いて立式することができる。
- 知**
 - ・2, 3位数×1位数の計算の原理や方法, 筆算のしかたがわかる。
 - ・乗法の結合法則の意味がわかる。
 - ・乗法の場面が, 「1つ分の大きさ×いくつ分=全体の大きさ」ということばの式に表されることや□□乗法の場面をテープと数直線の図に表す方法がわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|-----------------------------|---|-----------------------------------|--|
| 1 何十, 何百のかけ算 (●p. 37～38) | 1 | ・何十, 何百×1位数の乗法の計算原理や方法を理解し, 計算する。 | 考 何十, 何百×1位数の計算のしかたを, 10や100を単位として乗法九九をもとにして考え, 説明している。 知 何十, 何百×1位数の計算のしかたを理解している。 |

| | | | |
|------------------------------------|--------|---|---|
| 2 (2けた) × (1けた) の筆算 (教p. 39~43) | 2 3 | ・2位数×1位数で、部分積にくり上がりのない場合の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 関 2位数×1位数の計算のしかたを進んで考えようとしている。 考 2位数×1位数の計算のしかたを、数の構成や既習の乗法を用いて考え、説明している。 知 2位数×1位数の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| | 4 | ・2位数×1位数で、部分積にくり上がりのある場合の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 技 2位数×1位数で、部分積にくり上がりのある場合の計算が筆算でできる。 知 2位数×1位数で、部分積にくり上がりのある場合の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| | 5 | ・2位数×1位数で、部分積が百の位にくり上がる場合の筆算のしかたを理解し、計算する。 | 技 2位数×1位数で、部分積が百の位にくり上がる場合の計算が筆算でできる。 知 2位数×1位数で、部分積が百の位にくり上がる場合の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| 3 (3けた) × (1けた) の筆算 (教p. 44~45) | 6 | ・3位数×1位数で、部分積にくり上がりのない場合の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。 | 考 3位数×1位数の計算のしかたを、数の構成や既習の乗法を用いて考え、説明している。 知 3位数×1位数の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| | 7 | ・3位数×1位数で、部分積にくり上がりのある場合の筆算のしかたを理解し、計算する。 | 技 3位数×1位数で、部分積にくり上がりがある場合と、被乗数に空位がある場合の計算が筆算でできる。 知 3位数×1位数で、部分積にくり上がりがある場合と、被乗数に空位がある場合の計算原理や方法、筆算のしかたを理解している。 |
| 4 かけ算のきまり (教p. 46) | 8 | ・具体的な場面を通して、乗法の結合法則が成り立つことを理解する。 | 技 乗法の結合法則を計算に活用することができる。 知 乗法の結合法則の意味を理解している。 |
| 5 かけ算とことばの式や図 (教p. 47~48) | 9 | ・具体的な乗法の場面を、「1つ分の大きさ×いくつ分=全体の大きさ」ということばの式にまとめる。 | 技 乗法に関するいろいろなことばの式を1つのことばの式にまとめることができる。 知 乗法の場面が、「1つ分の大きさ×いくつ分=全体の大きさ」ということばの式に表されることを理解している。 |

| | | | |
|--|----------|---|---|
| | 10 | ・具体的な乗法の場面をことばの式やテープと数直線の図で表し、問題を解決する。 | 技 乗法の場面で、テープと数直線の図を用いて立式することができる。 知 乗法の場面の数量の関係を、テープと数直線の図に表す方法を理解している。 |
| まとめの練習 (教p. 49~50) ◇数字を見つけよう (教p. 50) | 11 12 | ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 ◇筆算形式で表された2, 3位数×1位数の乗法の虫食い算をすることにより、乗法の筆算の理解を深める。 | 技 2, 3位数×1位数の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。 知 2, 3位数×1位数の計算原理や筆算のしかたを理解している。 |

■ 5 ぼうグラフと表 (指導時期 6月・9時間)

単元の目標

様々な日常の事象を調べて、それをわかりやすく棒グラフや表に表し、事象の状況や特徴を考察できるようにする。

- 関** 資料を分類整理し、棒グラフや二次元の表に表すことよさを理解し、日常の様々な事象を棒グラフや二次元の表に表して調べようとする。
- 考** 身近な事象について資料を分類整理し、さらに棒グラフの表や二次元の表に表すことによって資料の特徴を考察することができる。
- 技** 資料を分類して表に整理したり、棒グラフや二次元の表に表したり読んだりできる。
- 知** 棒グラフや二次元の表のかき方、読み取り方がわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|-------------------------|---|---|--|
| 1 整理のしかた (教p. 51~53) | 1 | [アプローチ] 様々な遊びが書かれたカードの整理のしかたを考える。 ----- ・「正」の字を用いた資料の調べ方のよさを理解する。 ・「正」の字を用いて資料を調べた結果を、表に表し、その意味を正しく理解する。 | 関 身近な事象について調べる際に、分類整理するよさを感じ、進んで処理しようとしている。 考 資料を分類し、表に表すことによって事象に見通しをもち、整理して考えている。 |

| | | | |
|--|---|---|---|
| 2 ぼうグラフの読み方 (教p. 54~55) | 2 | ・棒グラフの意味や読み方を理解し、その特徴を読み取る。また、項目の順序を並べ替える工夫について考える。 | 考 棒グラフのよさや表し方の工夫について考えることができる。 知 棒グラフの意味や読み方について理解している。 |
| | 3 | ・いろいろな棒グラフの読み取り方を考え、棒グラフについての理解を深める。さらに、時系列の順に表した棒グラフのよさを理解する。 | 技 1目盛りの大きさに留意して、棒グラフの数量を読み取ることができる。 知 横向きの棒グラフや、項目が時系列の順に並べられた棒グラフの読み方や、そのよさを理解している。 |
| 3 ぼうグラフのかき方 (教p. 56~57) | 4 | ・棒グラフの表し方を理解し、資料を棒グラフに表す。また、資料の最大値やグラフ用紙の目盛りをもとに、1目盛りの大きさを考え、棒グラフに表す。 | 考 資料の最大値とグラフ用紙の大きさをもとにして、グラフの1目盛りの大きさを筋道だてて考えている。 |
| | 5 | | 技 資料をもとにして、棒グラフをかくことができる。 知 棒グラフの表し方を理解している。 |
| 4 表のくふう (教p. 58~59) | 6 | ・一次元の表をもとに二次元の表をつくり、資料の特徴を読み取る。また、二次元の表のよさをとらえる。 | 考 資料を二次元の表にまとめ、そこから資料の特徴を考察している。 知 二次元の表の読み方や表し方、そのよさについて理解している。 |
| まとめの練習 (教p. 60~61) | 7 | ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | 技 棒グラフを正しく読み取ったり、表したりすることができる。 知 二次元の表の読み方を理解している。 |
| ◇ 表やぼうグラフに表そう (教p. 61) | 8 | ◇自分で調べたいことを決めて、調べたことを表や棒グラフに表す。 | 関 調べたいことを自ら考え、調べた結果を表や棒グラフに表そうと意欲をもって取り組んでいる。 |
| ◇ (読みとって考えよう) すきな乗りものは何かな (教p. 62~63) | 9 | ◇身近な事象について、表された表やグラフを活用して資料を完成させ、その資料の特徴について考察する。 | 関 資料を分類整理し、表や棒グラフに表すことのよさに気づき、進んで活用しようとしている。 考 資料を表や棒グラフに表してその意味や特徴を読み取ることができる。 |

6 わり算 (指導時期 6月～7月・8時間)

単元の目標

除法が用いられる場合と意味について理解し、場面を除法の式に表すことができる。また、除法の答えの見つけ方を理解し、九九1回でわり切れる場合の除法の計算が確実にできる。

- 関**
 - ・除法の意味や計算のしかたについて、乗法との関連や具体物の操作などからとらえようとする。
 - ・除法で解決する場面を見だし、進んで除法を用いようとする。
- 考**
 - 等分除、包含除を既習の減法や乗法をもとに考えることができる。
- 技**
 - ・除法が用いられる場面を式で表現することができる。
 - ・除法の場面を立式し、乗法九九を用いて答えを確実に求めることができる。
- 知**
 - ・除法の用いられる場面や意味、答えの求め方を理解することができる。
 - ・何倍かを求めるときに除法が用いられることがわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|---------------------------|---|---|---|
| 1 1人分は何こ (教p. 64～68) | 1 | <p>〔アプローチ〕</p> <p>●p. 64の写真をもとに、同じ数に分ける計算に対する興味・関心を高め、本単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>・等分除の場面を具体物の操作などによりとらえ、除法の意味や式表示について理解する。</p> | <p>関 除法の意味や計算のしかたについて、乗法との関連や具体物の操作などからとらえようとしている。</p> <p>技 除法の用いられる場面(等分除)について、除法の式表示ができる。</p> <p>知 等分したときの1つ分の数を求めるときは、除法の式に表せばよいことを理解している。</p> |
| | 2 | <p>・除法の答えは乗法九九を用いて求められることを理解し、除法の計算をする。</p> | <p>技 乗法九九を用いて等分除の答えを求めることができる。</p> <p>知 等分除の答えは、乗法九九を用いて求められることを理解している。</p> |
| 2 何人に分けられる (教p. 69～72) | 3 | <p>・包含除の場面を具体物の操作などによりとらえ、除法が用いられることを理解する。</p> | <p>関 除法の意味や計算のしかたについて、乗法との関連や具体物の操作などからとらえようとしている。</p> <p>技 除法の用いられる場面(包含除)について、除法の式表示ができる。</p> <p>知 等分したときのいくつ分の数を求めるときは、除法の式に表せばよいことを理解している。</p> |

| | | | |
|-----------------------|--------|--|--|
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・包含除の場合も，商は乗法九九を用いて求められることを理解し，除法の計算をする。 | 技 乗法九九を用いて包含除の答えを求めることができる。 知 包含除の答えも，乗法九九を用いて求められることを理解している。 |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面の考察を通して等分除，包含除と乗法との関係について理解する。 | 考 等分除，包含除の意味や違いを，既習の乗法をもとに考えることができる。 知 除法の用いられる場面や意味を理解している。 |
| 3 0や1のわり算 (●p. 73) | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・0をわったり，1でわったりする計算の意味を理解し，正しく計算する。 | 考 具体的な場面で，被除数が0の場合や除数が1の場合などを既習の除法と同じように考えることができる。 知 被除数が0の場合や除数が1の場合の除法の意味を理解している。 |
| 4 倍とわり算 (●p. 74) | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・何倍かを求めるときには除法が用いられることを理解する。 | 知 何倍かを求めるときに除法が用いられることを理解している。 |
| まとめの練習 (●p. 75) | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習内容を理解しているか確認し，それに習熟する。 | 技 乗法九九1回適用の除法の計算ができ，それを用いて問題を解決することができる。 |
| ふくしゅう2 (●p. 76～77) | 1 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・復習問題に取り組み，既習事項の理解を確実にする。 | |

7 分数 (指導時期 9月・7時間)

単元の目標

等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを分数で表すことや、分数の構成、大きさを理解し、分数の大小比較、簡単な加法、減法の計算ができるようにする。

関

分数のしくみやよさを知り、進んで生活に生かそうとする。

考

- ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すとき、 $1/3$ 、 $1/4$ などの適切な単位をもとにその大きさを表す。
- ・簡単な加法、減法の計算を、単位分数をもとにして考え、具体物や図を用いて答えを求めたり、説明したりする。

技

- ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを分数を用いて表すことができる。
- ・和が1までの同分母分数の加法とその逆の減法の計算をすることができる。

知

分数の意味や表し方、読み方を理解し、分数の構成や大きさを理解する。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|-------------------------|---|--|--|
| 1 分数 (●p. 78～81) | 1 | <p>〔アプローチ〕 既習の分数を想起し、いろいろな分数について学習する本単元の見通しをもつ。</p> <p>・1m を3等分した1つ分の長さを $1/3m$ と表すことを理解する。</p> | <p>関 1つのものをいくつかに等分した大きさをもとに、分数について進んで調べようとしている。</p> <p>技 1m を等分してできる部分の大きさを、分数を用いて表すことができる。</p> <p>知 1m を3等分した1つ分の長さを $1/3m$ と表すことを理解している。</p> |
| | 2 | <p>・1m をn等分したいくつ分の長さの表し方や、端数部分の大きさの表し方を理解する。また、「分母」、「分子」の用語とそれらの意味を理解する。</p> | <p>技 1m や1L をn等分したいくつ分の長さやかさを分数で表すことができる。また、端数部分の大きさを分数で表すことができる。</p> <p>知 「分母」、「分子」の用語とそれらの意味を理解している。</p> |
| 2 分数のしくみ (●p. 82～84) | 3 | <p>・分数のしくみについて理解し、$5/5m = 1m$ という関係を知る。また、分母、分子のそれぞれの数が表す意味について理解を深める。</p> | <p>技 量を表す単位分数をもとに、いろいろな大きさの分数を表すことができる。</p> <p>知 $5/5m$ は1mと同じであることや1より大きい分数があることを理解している。</p> |

| | | | |
|--|----------|--|---|
| <p>◇分数ものさし を作ろう (●p. 84)</p> | <p>4</p> | <p>・分数を数直線と関連づけて数としてみるとともに、分数の大きさを比較する。</p> <p>◇1mのテープを使って分数ものさしを作り、いろいろなものの長さを測定し、分数を用いて表す。</p> | <p>技 分数を数としてとらえ、単位分数をもとにいろいろな分数を表すことができる。</p> <p>知 「不等号」の用語を知り、その意味を理解している。</p> |
| <p>3 分数のたし算 とひき算 (●p. 85～87)</p> | <p>5</p> | <p>・同分母の真分数どうしの加法について、計算の意味や計算方法を理解し、計算する。</p> | <p>考 分数のしくみに基づいて、同分母の真分数どうしの加法の計算方法を考えている。</p> <p>知 同分母の真分数どうしの加法の計算のしかたを理解している。</p> |
| | <p>6</p> | <p>・同分母の真分数どうしの減法や1から真分数をひく計算について、計算の意味や計算方法を理解し、計算する。</p> | <p>考 分数のしくみに基づいて、同分母の真分数どうしの減法や、1から真分数をひく計算のしかたを考えている。</p> <p>知 同分母の真分数どうしの減法や、1から真分数をひく減法の計算のしかたを理解している。</p> |
| <p>まとめの練習 (●p. 88)</p> | <p>7</p> | <p>・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。</p> | <p>技 分数の大小比較や、加法、減法の計算をすることができ、それを活用して問題を解決することができる。</p> <p>知 分数の構成、大きさについて理解している。</p> |

8 円と球 (指導時期 9月・8時間)

単元の目標

円や球についての概念や特徴を理解し、それらについての用語やコンパスを正しく用いることができる。

- 関** ・身のまわりで、円や球がどのような場面で使われているかに関心をもつ。
- ・コンパスなどを用いて円の模様づくりの活動をたのしみ、円のもつ美しさに気づく。
- 考** ・円周上のどの点も中心から等距離にあることを見いだす。
- ・円の半径や直径は無数にあることや、直径と半径の長さの関係を見いだす。
- ・球を平面で切ると、切り口は全て円になること、球をちょうど半分にした切り口が最大になることを見いだす。
- 技** コンパスを用いて円をかいたり、等しい長さをはかりとったり、長さを写し取ったりすることができる。
- 知** ・円や球の中心、半径、直径について知り、それらの関係がわかる。
- ・コンパスの使い方がわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|--------------------|---|---|--|
| 1 円 (教p. 89~96) | 1 | 〔アプローチ〕 ●教p. 89の写真をもとに、いろいろなまるい形があることについて話し合い、まるい形に対する興味・関心を高める。 | 関 まるい形について進んで調べようとしている。 |
| | | ・円のかき方を知るとともに、「円」、円の「中心」、「半径」の用語とそれらの意味を理解する。 | 考 1点から等しい距離にある点の集まりが円になることを見いだしている。 |
| | 2 | ・円の半径は無数にひけて、長さは全て等しいことを理解するとともに、円の「直径」の用語とその意味や、半径と直径の関係を理解する。 | 知 「円」、円の「中心」、「半径」の用語とその意味を理解している。 |
| | 3 | ・コンパスの使い方がわかり、決められた長さの半径の円をかく。 | 技 コンパスを用いて円をかくことができる。 知 コンパスを用いた円のかき方を理解している。 |

| | | | |
|---------------------------|---|--|--|
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 円を使ったいろいろな模様をかくことを通して、コンパスの使い方に慣れるとともに、模様の美しさを味わう。 | <p>関 円を使った模様をかき、その美しさを味わう。</p> <p>技 コンパスを用いて例示の模様やいろいろな模様をかくことができる。</p> |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> コンパスを用いて、長さを写し取って、長さを比べる。 | <p>関 コンパスの有用性に気づき、進んで活用しようとしている。</p> <p>技 コンパスで長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりできる。</p> |
| 2 球 (●p. 97~98) | 6 | <ul style="list-style-type: none"> 円に関連して「球」を知り、その基本的な性質を理解する。 | <p>技 球の直径の長さをはかることができる。</p> |
| ◇いろいろな円や球 (●p. 98) | 7 | ◇身のまわりから円や球をさがしたり、校庭に大きな円をかく。 | <p>知 球の概念や性質と、球に関する用語の意味を理解している。</p> |
| まとめの練習 (● p. 99 ~ 100) | 8 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | <p>考 円や球の半径と直径の長さの関係をもとに考え、いろいろな長さを見いだしている。</p> <p>技 円や球に関して用語を正しく使い、円の作図ができる。</p> |
| ◆金貨はどこにあるのかな (●p. 101) | | ◆コンパスの特性をいかして、金貨のうまっている場所を見つける。 | <p>技 コンパスを用いて3つの条件を満たす点を見つけることができる。</p> <p>知 コンパスの有用性を理解している。</p> |
| ◆まほうじん (●p. 102) | | ◆3×3の方眼で、縦、横、斜めの3つの数の和が常に同じであるような数を見つける。 | <p>関 魔方陣をつくることにより、数の不思議さに興味をもち、進んで取り組んでいる。</p> <p>技 3位数までの3口の数の加法や減法を正しく計算し、魔方陣をつくることができる。</p> |

■ 9 いろいろなわり算 (指導時期 9月～10月・7時間)

単元の目標

乗法九九を1回適用してできる除法で、あまりのある場合の計算のしかたについて理解するとともに、それを用いる能力を身につける。また、商が2位数になる除法の計算のしかたを理解する。

- 関** あまりのある除法の計算を、進んで問題解決に活用しようとする。
- 考**
- ・既習の除法と関連づけて、あまりのある場合の除法でも乗法九九を使って答えが求められることを筋道だてて説明する。
 - ・あまりの処理の必要な問題場面で、あまりの処理のしかたについて説明することができる。
 - ・商が2位数になる場合の除法の計算のしかたを、数の構成や乗法九九1回適用の除法をもとに考えることができる。
- 技** あまりのある除法や商が2位数になる場合の除法の計算ができる。
- 知** 「あまり」の意味、あまりと除数の大小関係、及びあまりのある除法や商が2位数になる場合の除法の計算のしかたを理解する。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|------------------------------------|---|---|---|
| 1 あまりのあるわり算 (教 p. 103 ~ 106) | 1 | ・乗法九九を1回適用する除法(包含除)であまりの意味と計算方法について考える。また、除法のあまりと除数の大小関係を調べる。 | <p>考 既習の除法と関連づけて、あまりのある除法(包含除)でも乗法九九を使って答えが求められることを説明している。</p> <p>知 「あまり」や「わりきれない」、「わりきれる」の用語の意味と、あまりと除数の大小関係を理解している。</p> |
| | 2 | ・等分除の場面においてもあまりの意味を理解し、その答えの求め方を考える。 | <p>技 あまりのある除法の式表示と計算ができる。</p> |
| | 3 | ・あまりのある除法を適用し、問題場面に即してあまりの処理のしかたを考え、問題を解決する。 | <p>関 あまりのある除法の計算を、あまりのない除法の計算のときと同様に進んで問題解決に活用しようとしている。</p> <p>考 あまりの処理の必要な問題場面で、あまりの処理のしかたについて説明している。</p> |
| 2 答えが2けたになるわり算 (教 p. 107 ~ 108) | 4 | ・何十÷1位数で、十の位がわりきれる場合の計算方法を考え、答えを求める。 | <p>考 何十÷1位数の計算は、10を単位としてみれば乗法九九を用いて計算できることを説明している。</p> |

| | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|
| | 5 | ・ 2 位数 ÷ 1 位数で、各位がわりきれの場合の計算をする。 | 知 2 位数 ÷ 1 位数の計算のしかたを理解している。 |
| まとめの練習 (教 p. 109 ~ 110) | 6 | ・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | 技 あまりのある除法や位ごとによりきれ 2 位数 ÷ 1 位数の計算ができ、それらを活用して問題を解決することができる。 |
| ◇ きまりを見つつけよう (p. 110) | 7 | ◇ 1 ずつ大きくなる数がある数でわったときの商とあまりの大きさを求め、あまりの数がどのように変わっていくかを調べる。 | 知 あまりは除数より小さくしなければならぬことを理解している。 |
| ◆ グループの人数をできるだけ同じにしよう (教 p. 111) | | ◆ グループ分けというあまりのある除法の場面で、題意に即してあまりの処理を考える。 | 考 図などをもとに、問題の構造を明らかにし、あまりのある除法を適用し、題意に即してあまりを処理する方法を考えている。 |
| ふくしゅう 3 (教 p. 112) | 1 | ・ 復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。 | |

■ 10 長さ (指導時期 10 月・7 時間)

単元の目標

巻尺を用いて身のまわりにあるものの長さを測定することに興味をもつ。また、長さの単位 km を知るとともに、複名数で表された長さの加減の計算ができる。

- 関** 巻尺を用いて、身のまわりのものの長さをはかろうとする意欲をもつ。
- 考** 長さのはかり方と関連して巻尺の必要性や使い方を考える。
- 技**
 - ・ 巻尺を用いて長さを測定することができるとともに、そのおよその長さの見当をつけたり、測定するものによって単位や計器を正しく選択して測定したりすることができる。
 - ・ km, m 単位で表された長さの加減の計算ができる。
- 知** 「道のり」、「きょり」の用語や長さの単位 km を知り、道のりと距離の違いや単位間の関係 (1 km=1000m) を理解する。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|-------------------------------|---|---|--|
| 1 長さのはかり方 (教 p. 113 ~ 115) | 1 | <p>[アプローチ]</p> <p>●p. 113 の写真をもとに、既習の 1m ものさしより長いものさしの必要性に気づき、長い長さのはかり方や表し方に対する興味・関心を高め、本単元の見通しをもつ。</p> <p>-----</p> <p>・長さの測定のしかたと関連して、巻尺の必要性や目盛りの読み方、測定のしかたを理解する。</p> | <p>関 巻尺の目盛りの読み方や使い方を調べようとしている。</p> <p>知 巻尺の必要性や目盛りの読み方、測定のしかたを理解している。</p> |
| | 2 | <p>・巻尺を用いているいろいろなものの長さを測定するとともに、そのよさを理解する。</p> | <p>技 巻尺を用いているいろいろなものの長さを測定することができる。</p> |
| 2 キロメートル (教 p. 116 ~ 118) | 3 | <p>・「道のり」の用語や長さの単位「km」を知り、1km=1000m の関係について理解する。</p> | <p>技 1km=1000m の関係を用いることができる。</p> <p>知 km 単位の必要性や、1km=1000m の関係を理解している。</p> |
| | 4 | <p>・「きより」の用語を知り、km, m の単位で表された長さの加減の計算をするとともに、「道のり」と「きより」の違いを理解する。</p> | <p>技 km, m 単位で表された長さの加減の計算ができる。</p> <p>知 「道のり」と「きより」の違いを理解している。</p> |
| | 5 | <p>・校庭を 1km 歩いてみることで、量感をとらえる。また、身のまわりから km が使われているものをさがす。</p> | <p>関 1km を歩いたり、身のまわりから km 表示のものをさがしたりして、長さに関する量感をとらえようとしている。</p> |
| ◇長さについて調べよう (教 p. 118) | 6 | <p>◇学校外で 1km 歩いたり、長さの測定器を用いて道のりを測定したりする。</p> | |
| まとめの練習 (教 p. 119) | 7 | <p>・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。</p> | <p>技 道のりと距離の差を求めることができる。</p> <p>知 長さの単位の大きさや巻尺の目盛りの読み方、1km=1000m の関係を理解している。</p> |

11 小数 (指導時期 10月～11月・12時間)

単元の目標

小数の構成や順序, 系列について理解するとともに, 大小比較や加法, 減法の計算をすることができる。

- 関** 小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき, 進んで生活や学習に活用しようとする。
- 考**
 - ・端数部分の大きさを表すとき, 整数の十進位取り記数法の考えや分数の等分したいくつ分の考えをもとにして新たな単位 (0.1) をつくり, そのいくつ分で表すなど, 拡張して考える。
 - ・小数と分母が 10 の分数の大きさについて, 数のしくみに目を向け, 大小比較のしかたを考える。
 - ・ $1/10$ の位までの小数の加法及び減法の計算を, 整数の計算をもとにして考え, 具体物や図や式を用いて答えを求めたり, 考えを深めたりする。
- 技**
 - ・端数部分の大きさを小数を用いて表したり, 大小比較をしたりすることができる。
 - ・ $1/10$ の位までの小数と分母が 10 の分数の大小比較や $1/10$ の位までの小数の加法及び減法の計算ができる。
- 知**
 - ・小数の意味や表し方, 構成, 順序, 系列, 整数や分数との関係がわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|--------------------------------|---|--|---|
| 1 はしたの大きさの表し方 (数p. 120～124) | 1 | 〔アプローチ〕 小数が使われている場面について話し合い, 新しい数に対する興味・関心を高める。 | 関 1L に満たないはしたのかさの表し方に関心をもち, どのように表したらよいかを考えようとしている。 |
| | 2 | ・端数部分の大きさの表し方を考え, 小数の表し方と読み方を理解する。 | 技 かさを小数を用いて単名数で表すことができる。 知 端数部分を小数で表す表し方や読み方を理解している。 |
| | 3 | ・長さの場合で, 複名数で表される数量を小数を用いて単名数で表す。 | 技 複名数で表された長さを小数を用いて単名数で表すことができる。 |
| 2 小数のしくみ (数p. 125～128) | 4 | ・数直線上に小数を表す。 ・数直線と小数との関係についての理解を深める。 | 技 数直線上に小数を表したり, 表された小数を読み取ったりすることができる。 知 「 $1/10$ の位」, 「小数第一位」の用語とそれらの意味を理解している。また, 「数直線」の用語や, 小数の十進構造を理解している。 |

| | | | |
|-------------------------------|----|---|--|
| ◇ 数のみかた (●p. 128) | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・小数の大小比較をする。また、$1/10$ を単位とした分数と小数との関係を調べる。 ◇ 整数、小数、分数には、「単位とする数のいくつ分で表す」という共通点があることを理解し、数の見方の理解を深める。 | 技 小数の大小比較をすることができる。 知 $1/10$ を単位とした分数と小数との関係を理解している。 |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・小数と分母が10の分数の大小比較のしかたを考える。 | 考 小数と分数の関係をもとに、大小比較のしかたを考えている。 技 小数と分母が10の分数の大小比較をすることができる。 |
| 3 小数のたし算とひき算 (●p. 129～133) | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・$1/10$ の位までの小数の加法の計算のしかたを理解し、計算する。 | 考 0.1 のいくつ分という見方をもとにして小数の加法の計算方法を説明している。 技 $1/10$ の位までの小数の加法の計算ができる。 知 $1/10$ の位までの小数の加法の計算のしかたを理解している。 |
| | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・$1/10$ の位までの小数の減法の計算のしかたを理解し、計算する。 | 考 0.1 のいくつ分という見方をもとにして小数の減法の計算方法を説明している。 技 $1/10$ の位までの小数の減法の計算ができる。 知 $1/10$ の位までの小数の減法の計算のしかたを理解している。 |
| | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・$1/10$ の位までの小数の加法の筆算のしかたを理解し、計算する。 | 考 小数のしくみと、小数の加法の筆算を関連づけて考えている。 技 $1/10$ の位までの小数の加法の計算を筆算でできる。 知 $1/10$ の位までの小数の加法の筆算のしかたを理解している。 |
| | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・$1/10$ の位までの小数の減法の筆算のしかたを理解し、計算する。 | 考 小数のしくみと、小数の減法の筆算を関連づけて考えている。 技 $1/10$ の位までの小数の減法の計算を筆算でできる。 知 $1/10$ の位までの小数の減法の筆算のしかたを理解している。 |

| | | | |
|-------------------------|----|---------------------------------|-----------------------------------|
| まとめの練習 (●p. 134~135) | 11 | ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | 技 小数の大小比較や、加減の計算をすることができる。 |
| ◇ 小数をさがそう (●p. 135) | 12 | ◇身のまわりから小数をさがし、小数に対する興味・関心を高める。 | 知 小数の表し方、構成を理解している。 |

■ 12 重さの単位 (指導時期 11月~12月・9時間)

単元の目標

重さの概念、量感を養うとともに、重さの単位、測定、保存性や加法性について理解し、適切な計器を用いて重さをはかることができる。

- 関** 重さに関する事柄に興味を示し、はかりを日常生活で活用しようとする意欲をもつ。
- 考** 重さも長さやかさと同じように、単位を決めて数値化できると考える。
- 技** 計器を正しく選択して重さを測定することができる。
- 知**
 - ・重さの単位 g, kg, t を知り、単位の関係 (1 kg=1000g, 1 t=1000kg) を理解する。
 - ・重さについても加法、減法が適用できることを理解する。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|--------------------------|---|--|--|
| 1 グラム (●p. 136~138) | 1 | [アプローチ] ●p. 136 の、のりとはさみの写真を見て、のりとはさみではどちらが重いかを話し合う。重さに対する興味・関心を高め本単元の学習の見通しをもつ。 ----- ・直接比較をしたり、任意単位を用いてそのいくつかで重さを数値化したりして、重さを比較し、重さの普遍単位「g」を知る。 | 関 重さに関心を持ち、進んで重さ比べをしようとしている。 考 重さも長さやかさと同じように、単位を決めて数値化できると考えている。 知 重さの単位に「グラム」があり、「g」と書くことを理解している。 |
| 2 はかり (●p. 139 ~ 143) | 2 | ・重さをはかる計器としてはかりがあることを知り、それを用いて重さの測定をする。 | 知 はかりの目盛りの読み方や使い方を理解している。 |

| | | | |
|--|---|---|--|
| | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・100gの量感を養い、身のまわりのいろいろなものの重さを測定する。 | <p>関 はかりに興味・関心をもち、進んではかりを用いてものの重さを測定しようとしている。</p> <p>技 秤量1kgのはかりを用いて重さを測定することができる。</p> |
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・重さの単位 kg を知り、1 kg = 1000g の関係について理解する。 | <p>技 秤量4kgのはかりの目盛りを読み取ることができる。</p> <p>知 kg 単位の必要性と、1 kg = 1000g の関係を理解している。</p> |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・1 kg の量感を養い、身のまわりのいろいろなものの重さを測定する。 | <p>技 重さの見当をつけ、計器を選択して重さを測定することができる。</p> |
| 3 重さのはかり方のくふう (教p. 144) | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・重さについても加法、減法が適用できることを理解し、重さに関する問題を解決する。 | <p>考 重さに関する加減の計算を適用し、工夫して重さの問題を解決している。</p> <p>技 重さに関する加減の計算ができる。</p> <p>知 重さに関する加減の計算のしかたを理解している。</p> |
| 4 トン (教p. 145) ◆ 小さな重さの単位 (教p. 145) | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな重さの単位 t を知り、1 t = 1000kg の関係を理解する。 ◆ 日常で使われる mg の単位について知る。 | <p>知 重さの単位 t は大きい重さを表す単位であることや、1 t = 1000kg の関係を理解している。</p> |
| 5 単位のしくみ (教p. 146) | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・長さ、かさ、重さの単位のしくみを調べ、長さ、かさ、重さの単位の関係を整理し、ミリやキロの意味について理解する。 | <p>考 長さ、かさ、重さの単位について、上位単位は下位単位の何倍かを既習の単位の関係から考えている。</p> <p>知 単位にキロがついたりミリがとれたりすると、大きさが 1000 倍になることなどを理解している。</p> |
| まとめの練習 (教p. 147) | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | <p>技 はかりの目盛りを読んだり、重さの加減の計算をしたりすることができる。</p> <p>知 重さの単位 g, kg, t とその関係について理解している。</p> |

| | | |
|---------------------------------------|---|--|
| <p>◆ いろいろなはかり／重さはかわるかな (教 p. 148)</p> | <p>◆ 電子はかりやばねばかりなど、いろいろなはかりの特徴や用途について調べる。また、いろいろなはかり方をしても、重さは変わらないことを実際に体験しながら理解する。</p> | <p>関 いろいろなはかりに興味・関心を持ち、それぞれの使い方を調べようとしている。</p> <p>知 測定するものや目的に応じていろいろなはかりがあることを理解している。また、重さの保存性や加法性について理解している。</p> |
|---------------------------------------|---|--|

■ 13 10000 より大きい数 (指導時期 12月・9時間)

単元の目標

1億までの数の構成や表し方、読み方、順序、系列、大小について理解する。また、ある数の10倍、100倍、1/10の数を求めたり、万を単位とした加減の計算をしたりすることができる。

- 関** 十進位取り記数法によさに気づき、1万より大きな数を表そうとする。
- 考** ・ある数とその10倍、100倍、1/10の数との関係を調べ、それぞれの数字の並び方は変わらないことを見いだす。
- ・数の相対的な大きさの見方を活用して、計算のしかたを考える。
- 技** ・1億までの数を読んだり、書いたりすることができる。
- ・万を単位とした加減の計算をすることができる。
- 知** 1億までの数の構成や表し方、読み方、順序、系列、大小について理解する。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|---------------------------|---|--------------------------------------|--|
| 1 万の位 (教 p. 149 ~ 155) | 1 | ・一万の位までの数の表し方を考える。 | 関 十進位取り記数法によさに気づき、1万より大きな数を表そうとしている。 知 5位数について、数の構成や表し方、読み方を理解している。 |
| | 2 | ・一万、十万、百万、千万という数の構成や、それらの相互の関係を理解する。 | 知 1万より大きな数の構成や、それらの相互の関係を理解している。 |
| | 3 | ・千万の位までの数の構成や記数法、命数法について理解する。 | 技 千万の位までの数を表したり、読んだりすることができる。 知 千万の位までの数の十進位取り記数法による表し方、読み方、相対的な大きさなどを理解している。 |

| | | | |
|---|---|--|---|
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・10000 より大きい数の相対的な大きさや数の構成について理解する。また、1億について、数の構成や記数法、命数法を理解する。 | <p>考 1000 を単位として数を相対的にみて、数の構成について考えている。</p> <p>知 1億について、数の構成や記数法、命数法などを理解している。</p> |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・10000 より大きい数を数直線上に表す。また、10000 より大きい数の大小について理解する。 | <p>技 千万の位までの数を数直線上に表したり、数を読み取ったり、大小比較をしたりすることができる。</p> |
| <p>2 10 倍, 100 倍の数や1/10 の数 (教 p. 156 ~ 158)</p> <p>◇ 数のみかた (教 p. 158)</p> | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・ある数の10倍, 100倍がどのような数になるか考える。 | <p>考 ある数を100倍した数は、ある数の10倍を10倍した数であると考えている。</p> <p>知 ある数の10倍, 100倍の大きさ、及びその表し方を理解している。</p> |
| | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・一の位に0のある数の1/10の数が、どのような数になるか考える。 <p>◇500について、乗法の式に表したり、5000の1/10と見たりするなど、多面的な見方をする。</p> | <p>知 1/10の大きさの数、及びその表し方について理解している。</p> |
| <p>3 大きな数の計算 (教 p. 159)</p> <p>◆ 大きな数の計算をもっと考えよう (教 p. 159)</p> | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・万を単位とした加法, 減法の計算をすることができる。 <p>◆ 5位数で表された男女の人口の和と差の計算について考える。</p> | <p>考 万を単位とした数の和や差の求め方を、数の相対的な大きさの見方を活用して考えている。</p> <p>技 万を単位として、大きな数の和や差を求めることができる。</p> |
| <p>まとめの練習 (教 p. 160 ~ 161)</p> <p>◇ 身のまわりから大きな数をさがそう (教 p. 161)</p> | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 <p>◇ 身のまわりから大きな数をさがし、大きな数に対する興味・関心を高める。</p> | <p>知 1億までの数の構成や表し方、読み方、順序、系列、大小について理解している。</p> |

| | | | |
|-----------------------------|---|---------------------------|--|
| ふくしゅう 4 (教 p. 162 ~ 163) | 1 | ・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。 | |
| 暗算 (教 p. 163) | 1 | ・2位数×1位数の乗法を暗算で する。 | 考 数構成に着目して、2位数×1位数の暗算のしかたをいろいろ考えている。 技 2位数×1位数の計算を暗算でできる。 |

14 2けたの数をかける計算 (指導時期 1月・10時間)

単元の目標

- 2, 3位数×2位数の計算原理や方法, 筆算のしかたを理解し, その計算が確実にできるようにする。
- 関** 2, 3位数×2位数の計算のしかたや筆算のしかたについて, 既習の乗法の計算と関連づけて考えようとする。
 - 考** 2, 3位数×2位数の計算のしかたや筆算のしかたを, 数構成や十進位取り記数法をもとに既習の乗法に着目して考え, 説明することができる。
 - 技**
 - ・2, 3位数×2位数の計算を筆算で確実にできる。
 - ・乗法の計算を乗法の結合法則や交換法則を活用し, 工夫して計算することができる。
 - 知** 2, 3位数×2位数の計算原理や方法, 筆算のしかたがわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|--------------------------------|---|---|--|
| 1 何十をかける計算 (教 p. 164 ~ 168) | 1 | <p>[アプローチ]</p> <p>●p. 164の絵をもとに, 乗数が10の乗法は既習であることをおさえ, 乗数が2桁(何十)になったときの計算のしかたに対する興味・関心を高め, 本単元の見通しをもつ。</p> <hr/> <p>・1位数×何十の乗法の計算原理や方法を理解し, 計算する。</p> | 考 1位数×何十の計算のしかたを既習の1位数をかける計算に帰着して考え, 説明している。 知 1位数×何十の計算原理や方法を理解している。 |

| | | | |
|-----------------------------------|---|--|---|
| | 2 | ・ 2 位数や何百，何百何十にそれぞれ何十をかける計算原理や方法を理解し，計算する。 | 考 2 位数や何百，何百何十に何十をかける計算のしかたを既習の 1 位数をかける計算に帰着して考え，説明している。 知 2 位数や何百，何百何十に何十をかける計算原理や方法を理解している。 |
| 2 2けたの数をかける計算 (教 p. 169 ~ 172) | 3 | ・ 2 位数×2 位数で部分積が2 位数になる乗法の計算原理や方法を理解し，筆算で計算する。 | 考 2 位数×2 位数の計算のしかたを，数構成や十進位取り記数法をもとに既習の乗法に帰着して考え，説明している。 技 2 位数×2 位数の計算を筆算でできる。 知 2 位数×2 位数の計算原理や方法，筆算のしかたを理解している。 |
| | 4 | | |
| | 5 | ・ 2 位数×2 位数で，部分積が3 位数になる乗法の筆算のしかたを理解し，計算する。 | 技 部分積が3 位数になる2 位数×2 位数の筆算ができる。 知 部分積が3 位数になる2 位数×2 位数の筆算のしかたを理解している。 |
| | 6 | ・ 3 位数×2 位数の乗法の計算原理や方法を理解し，筆算で計算する。 | 考 既習の乗法の筆算のしかたをもとにして，3 位数×2 位数の筆算のしかたを考えている。 技 3 位数×2 位数の計算を筆算でできる。 知 3 位数×2 位数の計算の筆算のしかたを理解している。 |
| 3 計算のくふう (教 p. 173 ~ 174) | 7 | ・ 2 位数×何十や1 位数×2 位数，何十×2 位数の簡便な筆算方法を理解し，計算する。 | 考 数構成による数の見方や乗法の交換法則をもとにして，手際のよい筆算のしかたを考えている。 知 乗法の手際のよい筆算のしかたを理解している。 |
| | 8 | ・ 3 口の数の乗法を結合法則や交換法則を活用し工夫して計算する。 | 考 乗法の結合法則や交換法則を活用して，3 口の数の乗法を手際よく計算する方法を考えている。 |

| | | | |
|------------------------------|----|--|--|
| ◇ いろいろな計算をしてみよう (教p. 174) | | ◇具体的な場面で、 $36 \times \square$ の□にいろいろな数を入れて答えを求めることにより、乗法の計算に習熟する。 | 知 3口の数の乗法の手際のよい計算のしかたを理解している。 |
| まとめの練習 (教 p. 175 ~ 176) | 9 | ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | 技 2位数をかける計算のしかた、筆算を正しく用いて問題を解決することができる。 知 2位数をかける計算原理を理解している。 |
| ◇数字を見つけよう (教p. 176) | 10 | ◇筆算形式で表された2位数×2位数の虫食い算をすることにより、乗法の筆算の理解を深める。 | |

15 二等辺三角形と正三角形 (指導時期 1月～2月・9時間)

単元の目標

観察や構成、作図などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形について理解する。また、二等辺三角形や正三角形に関連して、角について理解する。

- 関**
 - ・二等辺三角形や正三角形の辺や角に着目して、三角形の特徴を調べようとする。
 - ・二等辺三角形や正三角形をしきつめる活動をたのしみ、平面のひろがりや模様の美しさに気づく。
- 考**
 - ・三角形を、二等辺三角形や正三角形の集まりに分類することにより、分類した観点をもとにそれぞれの三角形の特徴を見いだす。
 - ・二等辺三角形や正三角形を観察したり、折ったり重ねたりする活動を通して、それぞれの三角形の角の性質を帰納的に見いだす。
- 技** 二等辺三角形や正三角形を弁別したり、作図したりすることができる。
- 知**
 - ・二等辺三角形や正三角形の定義を理解する。
 - ・角の定義と、二等辺三角形、正三角形の角の性質を理解する。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|--------------------------------|--------|--|---|
| 1 いろいろな三角形 (教 p. 177 ~ 181) | 1 2 | [アプローチ] ●p. 177 の写真を見て、三角形について調べていくという本単元の見通しをもつ。 | 関 ストローを用いていろいろな三角形を作り、三角形の特徴を調べようとしている。 考 三角形を、二等辺三角形や正三角形の集まりに分類することにより、分 |

| | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ストローで作ったいろいろな三角形を分類し、「二等辺三角形」と「正三角形」の概念や定義を理解し、弁別する。 | <p>類した観点をもとにそれぞれの三角形の特徴を見いだしている。</p> <p>技 いろいろな三角形のなかから、二等辺三角形や正三角形を弁別することができる。</p> <p>知 「二等辺三角形」や「正三角形」の用語とその定義を理解している。</p> |
| 2 二等辺三角形や正三角形のかき方 (教 p. 182 ~ 183) | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンパスとものさしを用いて、二等辺三角形と正三角形を作図する。 | <p>関 二等辺三角形、正三角形を進んで作図しようとしている。</p> <p>知 二等辺三角形や正三角形のかき方を理解している。</p> |
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・円とその半径を用いて、二等辺三角形や正三角形を作図する。 | <p>考 二等辺三角形や正三角形のかき方を、その図形の特徴や円の性質をもとにして見いだしている。</p> <p>技 円の性質を活用して、二等辺三角形や正三角形を作図することができる。</p> |
| 3 三角形の角 (教 p. 184 ~ 185) | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・角の概念を理解し、角の大きさは辺の開き具合で決まることを理解する。 | <p>技 2つの角を重ねることによって、角の大きさを比べることができる。</p> <p>知 1つの頂点から出る2つの辺がつくる形を「角」ということを理解している。</p> |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形と正三角形の3つの角の大きさを比べ、それぞれの三角形の角の大きさに関する性質を調べる。 | <p>関 二等辺三角形や正三角形の角の大きさに関心をもち、調べようとしている。</p> <p>考 二等辺三角形や正三角形を観察したり、折ったり重ねたりする活動を通して、二等辺三角形と正三角形の角の性質を帰納的に見いだしている。</p> <p>知 二等辺三角形や正三角形の角について、それぞれ2つの角、3つの角の大きさが等しいことを理解している。</p> |

| | | | |
|--------------------------------------|----------|---|--|
| <p>4 二等辺三角形や正三角形のしきつめ (教 p. 186)</p> | <p>7</p> | <p>・ 合同な二等辺三角形や正三角形でしきつめ模様を作り、そのなかにどんな形があるか調べる。</p> | <p>関 合同な二等辺三角形や正三角形で平面をしきつめる活動をたのしみ、平面のひろがりやできる模様の美しさに気づいている。</p> <p>考 合同な二等辺三角形や正方形をしきつめた模様のなかから、形を見いだしている。</p> <p>知 合同な二等辺三角形や正三角形で平面をしきつめ、そのなかにいろいろな形を認めたり、模様の美しさを感じたりし、図形に対する豊かな感覚をもっている。</p> |
| <p>まとめの練習 (教 p. 187 ~ 188)</p> | <p>8</p> | <p>・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。</p> | <p>技 コンパスとものさしを用いて、二等辺三角形や正三角形を作図することができる。</p> <p>知 二等辺三角形や正三角形の定義、性質を理解している。また、角の大きさの比べ方を理解している。</p> |
| <p>◇二等辺三角形や正三角形を作ろう (教 p. 188)</p> | <p>9</p> | <p>◇二等辺三角形や正三角形の定義をもとに、折り紙を用いて二等辺三角形や正三角形を作る。</p> | <p>考 二等辺三角形や正三角形が折れるわけを考え、説明することができる。</p> |

■ 16 □を使った式 (指導時期 2月・5時間)

単元の目標

未知の数量を記号の□を用いて表し、その数量関係を式表示して、□にあてはまる数を求めることができる。

- 関** □を用いると式表示が容易になり、数量関係が明確になることを知り、積極的に□を用いようとする意欲をもつ。
- 考** 具体的な場面を通して、未知の数量を□として式表示し、数量関係をとらえたり、□の数を筋道だてて求めることができる。
- 技** □を用いた式の□にいろいろな数をあてはめたり、図を用いたりして、□にあてはまる数を求めることができる。
- 知** □を用いると式表示が容易になり、数量関係が明確になることがわかる。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|-----|---|------|---------|
|-----|---|------|---------|

| | | | |
|--|---|---|---|
| 1 たし算とひき算 (教 p. 189 ~ 191) | 1 | ・具体的な場面について、加法になる関係を□を用いた式に表し、線分図を用いたりして□にあてはまる数を求める。 | 関 □を用いることのよさがわかり、積極的に□を用いようとしている。 技 具体的な場面について、未知の数量を□として数量関係を式に表したり、□にあてはまる数を求めたりできる。 |
| | 2 | ・具体的な場面について、減法になる関係を□を用いた式に表し、線分図を用いたりして□にあてはまる数を求める。 | 考 減法の問題場面で、加法のときの未知の数量の表し方を想起しながら、未知の数量を□として数量関係を式に表したり、□にあてはまる数を求めたりしようとしている。 |
| 2 かけ算とわり算 (教 p. 192 ~ 194) | 3 | ・具体的な場面について、乗法になる関係を□を用いた式に表し、図を用いて□にあてはまる数を求める。 | 関 □を用いることのよさがわかり、解決への見通しをもって□を用いようとしている。 知 □を用いると式表示が容易になり、数量関係が明確なることを理解している。 |
| | 4 | ・具体的な場面について、除法になる関係を□を用いた式に表し、図を用いて□にあてはまる数を求める。 | 考 具体的な場面について、□を用いた式と図に表し、図を使って式を説明したり、式の数値を使って図を説明したりしている。 知 除法の問題場面でも、□を用いると式表示が容易になり、数量関係が明確なることを理解している。 |
| まとめの練習 (教 p. 195) | 5 | ・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 | 技 具体的な場面について、未知の数量を□として数量関係を式に表したり、□にあてはまる数を求めたりできる。 考 図や式の表す意味を読み取り、正しく式と図を結びつけることができる。 |
| ◇(どんな計算するのかな)デパートでお買い物 (教 p. 196 ~ 197) | 1 | ◇具体的な問題場面で、どんな計算になるか考え、演算決定をして問題解決をする。 | 関 演算決定に興味・関心を示し、進んで問題を解決しようとしている。 技 数量の関係を正しく式に表し、既習事項を活用して問題解決することができる。 |

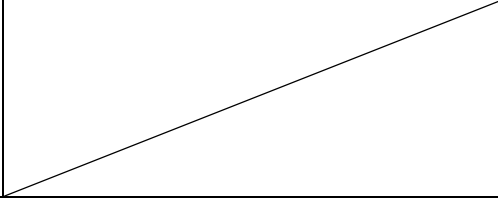
■ そろばん (指導時期 3月・3時間)

単元の目標

そろばんのしくみを理解し、そろばんによって数を表したり、簡単な加法及び減法の計算をしたりすることができる。

- 関** そろばんの使い方に慣れ、日常生活において有効に活用しようとする意欲をもつ。
- 考** そろばんのしくみや十進位取り記数法のしくみを生かして玉の動かし方を考えることができる。
- 技** そろばんを用いて数を表したり、簡単な加法及び減法の計算をしたりすることができる。
- 知**
 - ・そろばんの構造、部分の名称、数の表し方、用語の意味などについて理解する。
 - ・そろばんによる加法及び減法の計算のしかたを理解する。

| 小単元 | 時 | 学習内容 | 主な評価規準例 |
|-----------------------------|---|---|--|
| そろばんのしくみ (●p. 198) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・そろばんの構造、部分の名称、数の表し方、読み方、用語の意味について理解する。 ・一玉、五玉をそのまましたりひいたりする、くり上がりのない加法とくり下がりのない減法の運珠法を理解し、計算する。 | <ul style="list-style-type: none"> 関 そろばんのしくみに興味・関心もち、進んで練習している。 技 いろいろな数をそろばんにおいたり、はらったりできる。また、くり上がりのない加法とくり下がりのない減法の運珠法ができる。 知 そろばんの構造、各部の名称、数の表し方、用語の意味などを理解している。また、くり上がりのない加法とくり下がりのない減法の運珠法を理解している。 |
| 一玉と五玉のおき方とほらい方 (●p. 199) | | | |
| たし算とひき算 (● p. 199 ~ 201) | | | |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・5や10の合成、分解をともなう加法と減法の運珠法を理解し、計算する。 | <ul style="list-style-type: none"> 考 そろばんを用いた加法、減法の計算のしかたを筋道だてて説明している。 技 5や10の合成、分解をともなう加法と減法の運珠法ができる。 知 5や10の合成、分解をともなう加法と減法の運珠法を理解している。 |
| | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・5と10の分解、合成が組み合わ | <ul style="list-style-type: none"> 考 そろばんと十進位取り記数法のし |

| | | | |
|--|----------------|--|--|
| <p>大きな数や小数のたし算とひき算 (教p. 201)</p> | | <p>さる加法, 減法の運珠法を理解し, 計算する。 ・万の単位を含む簡単な加法及び減法のしかたや, 1/10 の位までの小数の簡単な加法及び減法のしかたを理解し, 計算する。</p> | <p>くみを関連づけて考えている。 技 5と10の分解, 合成が組み合わさる加減や, 大きな数, 小数の簡単な計算ができる。 知 5と10の分解, 合成が組み合わさる加減や, 大きな数, 小数の簡単な計算の運珠法を理解している。</p> |
| <p>◇(図を使って考えよう)テープの長さは何mかな (教p. 202)</p> | <p>1</p> | <p>◇2つの数量の和と差から, それぞれの大きさを求める問題を, 図をもとにして解決する。</p> | <p>考 2つの量を求めるのに条件を整理して, 表, 図及び式で問題を解決しようと考えている。</p> |
| <p>3年のふくしゅう (教 p. 203 ~ 206)</p> | <p>1 2</p> | <p>・3学年の復習問題に取り組み, 既習事項の理解を確実にする。</p> |  |